

雷雨及び豪雨時緊急対応マニュアル（管理下・下校時）

東 沢 小 学 校

雷雲発生・雷鳴・雷光確認

- 雷鳴や雷光が確認されたら、直ちに避難行動に移る心構えで！
- 日頃から、児童に、避難できる場所を考えさせておくようにする。

児童の安全確保

- (1) 開けた広い空間（グラウンドや公園等）が一番危険である。
諸活動をやめて直ちに屋内へ避難する。
- (2) 下校を中止し、児童を学校に留め置く。
- (3) 登下校途中であれば、できるだけ屋内へ避難する。
- (4) 自転車等に乘っていたら、すぐに下車して安全な屋内へ。

注意ポイント

- ×軒下の雨やどり、木の下での雨やどりは、非常に危険です。厳禁です。
- ×「傘をさす」ことも危険です。厳禁。

屋内避難が難しいときは「雷しゃがみ」で待つ。

- ①頭を下にかがめる。
- ②両手で耳をふさぎ、轟音を避ける。
- ③両足の「かかと」を合わせる。
- ④その姿勢を保って、つま先で立つ。
(かかを地面から浮かせる。)



安全及び被害の確認 他 <教頭等>

- 安全な場所への避難誘導
- 避難人数及び負傷状況の確認
- 職員等からの被害状況の情報収集
- 地区巡回の手配
- 「雷で下校が遅れる。」旨の連絡メールの配信

安全確認

- 職員による地区巡回 → 学校へ連絡
- 気象情報から安全を確認
雷鳴が止んでから、30分経過を目安とする。
- 下校を再開する。

下校不可時の避難対応 ～緊急メール配信を行う。～

< 長時間、学校に留め置く場合 > メール配信：教頭

